

宮崎市

スポーツ推進委員協議会だより



★第2回自主研修会

令和4年9月10日(土)

西部地区農村環境改善センター



第1回自主研修に引き続き、ニュースポーツ「ドッチビー」のルール説明と実技を行いました。まずはルールの説明を受け、更にデモンストレーションを重ねたら実践です。

ルールは、ほぼドッチボールと同じで分かりやすく良いです。ボールの代わりにウレタン製のディスクを使用するのですが、柔らかい素材なので当たっても痛くないのがこれまた良いです。

実技は、推進委員42名と各地区の体育会からの参加者18名から、1チーム10名の即席チーム4チームで対戦しました。ルールは、簡単。当たっても痛くない！と分かっているのに、逃げるのに必死になり、軽いディスクを力いっぱい投げて、とんでも無い方向へ飛んだりして、簡単な様で難しい競技だと感じました。実技体験の後で、大会競技ルールの見直し等についての意見交換を行いました。11月13日(日)のニュースポーツ大会開催に向けて、皆さんから安全かつ楽しく競技が行えるようにと、多くの意見が上がっていました。(広報部 日高み)

★第3回自主研修会

令和5年3月19日(日)

緑松体育館



今年度最後の行事となった、第3回自主研修。午前中は、「今期2年間の反省・今後スポーツ推進委員として取り組んでいきたいこと」等をテーマに、6グループに分かれてグループディスカッションを行いました。どのグループも活発に意見が飛び交い時間が足りない様子でした。ディスカッション後、各グループの発表をする時間があり、様々な意見が出て参考になりました。

お昼は、みんなで「お花見弁当」をいただきながら、ゆっくりと楽しくおしゃべりする時間があり親睦を深めました。午後からの研修は、珍しい「ニュースポーツ」を研修部の皆さんが準備してくれて、要領を教わりながら3つの競技を楽しみました。「ゲールゲーム」「台のせおじゃみ」「ディスクッター」です。「ゲールゲーム」は、スカットボールに似ていますが、スカット台と呼ばれる得点台がなく、マットにプリントしてあるので保管場所も取らず、軽量で使いやすいようでした。「台のせおじゃみ」は、台に穴が空いているので意外と難しく苦戦しました。

最後は、グループ対抗戦のドッチビー大会でした。毎回ですが、勝負にこだわり熱くなり目的を見失うことも・・・ニュースポーツ大会の審判講習の一環でもあるので、仕切り直ししながら、審判のやり方等再確認しました。終了後には、研修部で準備してもらった賞品をいただき、親睦を兼ねたとても充実した1日研修でした。(広報部 山元)

★第1回ニュースポーツ大会(ドッチビー)

令和4年11月13日(日) 宮崎市総合体育館

参加者 小学生の部 9チーム(110名)、一般の部 5チーム(65名)計175名

今回が初めての試みとなる第1回「宮崎市ニュースポーツ大会」が開催されました。種目は自主研修でも実技、審判研修を行った「ドッチビー」で、小学生9チーム、一般5チーム計175名の参加がありました。多くの参加者は「ドッチビー」の経験が少なく、ディスクが狙った方向と違う方向に飛んでいたり、ルールを理解できていないような場面もあり、苦労していました。しかし、試合を重ねるごとにコツをつかみ、レベルも上がりプレーを楽しめるようになったと感じました。

今回の大会は、「仲良く・楽しく・面白く」試合に臨み、参加者同士の親睦が目的でした。参加者は、他地区の参加者と交流でき、応援する皆さんも大きな拍手、声援を送っていました。予想以上の大盛況だったと思います。

私は事前の研修に参加できず、ぶっつけ本番で審判を務めましたが、位置取りやディスクのスピードの速さで、判定に悩むこともありました。「ドッチビー」は、市民の皆さんに取っつきやすく、気軽に楽しめるスポーツです。スポーツ推進委員として、ルールをしっかりと理解して、審判の質を上げ、「ドッチビー」の面白さを少しでも多くの方に伝えたいと思いました。

また、本大会では残念ながら、負傷した参加者が1名いました。競技前の十分なストレッチ、ウォーミングアップ等のアドバイスも行っていく必要があると再認識しました。(広報部 齋藤)

【特別賞表彰】 ●小学生の部：「we are ドッチビーズ」 ●一般の部：「チーム赤澤」



★第39回宮崎市地区対抗駅伝競走大会

令和5年1月15日(日) 生目の杜運動公園

参加者 女子：8チーム、男子：11チーム 計114名

前日に雨が降り、大会当日の天候が心配されましたが、朝には雨も止み、風もなく、冬とは思えないほどの暖かさの中での大会になりました。推進委員による朝準備では、各持ち場でのコース設営、ごみ拾いなどを行い、走者の安全面に気を配りました。

各チーム軽快な走りの一方、わき腹を押さえながら走る方もおられて、完走を心配しましたが、次の走者までタスキをつなぎ安心しました。

閉会式では、区間賞、予想タイムに近いチーム、頑張りましたで賞の発表があり、表彰者を讃えました。この大会に毎回参加されている方もいると聞き、日々の練習で努力されてる方々にとって、大会が無事行えて良かったと思いました。(広報部 利岡)

走順	1	2	3	4	5	6	合計
女子	小学生	小学生	中学生以下	18歳以上	中学生以下	35歳以上	6人
区間距離(km)	1.27 km	1.27 km	1.9 km	1.9 km	1.9 km	1.9 km	10.14 km
男子	小学生	小学生	中学生以下	18歳以上	中学生以下	40歳以上	6人
区間距離(km)	1.27 km	1.27 km	2.1 km	2.1 km	2.1 km	2.1 km	10.94 km

【大会成績】

- 男子の部：優勝 佐土原A(佐土原)36分1秒 ・第2位 大宮A(大宮)36分11秒 ・第3位 大淀(大淀) 37分26秒
- 女子の部：優勝 住吉(住吉)38分35秒 ・第2位 大宮A(大宮)41分28秒 ・第3位 大淀(大淀) 41分47秒



★第25回地区対抗ミニバレーボール大会

令和5年2月26日（日）宮崎市総合体育館

参加者 男子40歳以上の部：8チーム
 女子40歳以上の部：7チーム
 60歳以上の部：6チーム 計115名

当初8月に予定されていた大会が、コロナの影響で延期になったこと、また木花でWBCのキャンプが行われていることなどから参加は21チームと、例年の半数程度でした。しかし、数々の名プレーで会場は賑わい、お互いのチームが健闘を讃え合い、笑顔で試合を楽しむことができたのではないかと思います。

気温が低い中ででの開催にも関わらず、一人の怪我人も出なかったのは、試合前の事業部長による入念なストレッチの成果だと思います。参加者には盛り沢山の景品が用意されていて大変喜んでいただきました。次年度は計画通りに開催されて、もっと多くのチームの参加があると嬉しいですね。担当の推進委員の皆さん、お疲れ様でした。（班員 福原）

【各部門成績】

- 男子40歳以上の部
 - ☆優勝 昭和田（潮見）
 - ★準優勝 下北方南区（大宮）
 - 女子40歳以上の部
 - ☆優勝 四本松（住吉）
 - ★準優勝 花山手（大淀）
 - 60歳以上の部
 - ☆優勝 花ヶ島（東大宮）
 - ★準優勝 平和が丘（大宮）
- ※最高齢チーム賞（平均年齢72歳）
- ☆永池（住吉）
 - ☆淀川（大淀）



★第21回地区対抗グラウンド・ゴルフ大会

令和5年3月11日（土）生目の杜運動公園

参加者 36チーム 180名

天候にも恵まれ、絶好のグラウンドゴルフ日和となりました。今年は、数日後に感染症対策が緩和される事もあり、36チーム、180名の参加で、盛大に行われました。

1コースが8ホールあり、計3コース。参加者は、広いグラウンド内の各コースをボールを打ちながら進みます。時には、打ったボールと一緒に走り出す方もいて、その足取りは年齢を感じさせない程でした。最高齢者は95歳。年齢も性別も問わず楽しめるグラウンドゴルフは、素晴らしいスポーツだと実感しました。

昨年は感染症対策もあり、1チームで回っていたコースも、今年は2チーム1組で回るので、違う地区の方との交流も図れ、楽しそうにプレーされていました。日が高くなるにつれ、日差しが強く、気温が高くなりましたが、体調不良者もケガ人も無く、無事に大会が終えることができました。（広報部 利岡）

【大会成績】

●団体の部

- ☆優勝 田野A（田野）
- ★第2位 赤江A（赤江）
- ★第3位 東花ヶ島自治会A（東大宮）



●個人の部

- ☆優勝 東花ヶ島自治会A（東大宮） 嘉見 正
- ★第2位 池田若竹GG（本郷） 浜田年昭
- ★第3位 高岡中央クラブ（高岡） 錦田四郎

●ブービー賞

- ★第35位 上富吉（生目）

●最高齢チーム賞

- ★柏原（生目）

●最高齢者賞

- ★男性～小戸さくら（小戸） 平木 香（95歳）
- ★女性～霧島自治会GGクラブ（中央西） 田原恭子（93歳）





全国スポーツ推進委員
功労者表彰 本部伴典さん

この度、全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞できましたことは、偏にスポーツ推進委員仲間の励ましや援助、家族の協力、また行政担当者などのご指導の賜物と深く感謝申し上げます。委嘱された当初は地区内の行事のみの参加でした。市や県の研修会、研究大会に参加するようになり、推進委員仲間との親睦会やプライベートの付き合いも増え、絆も深まってきました。班長や理事、監査や副会長の役員を引き受け協議会の役割役目もわかってくと今まで以上に協力していかねばと思ひ、自分なりに優先的に対処してきたところです。

体育指導委員からスポーツ推進委員に名称も変更され、仕事の内容も変わってきました。現在は、企画・運営・連絡・調整等主体性を持ったコーディネーターとしての役割が求められています。地域や市民に頼りにされる喜びや誇りを大切に、更なる資質の向上を図り、精進してまいりたいと思ひます。市民の健康維持や体力増進、親睦や交流の絆づくりのお手伝いができるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

第65回九州地区スポーツ推進委員研究大会(大分市) 令和5年1月28日(土)・29日(日)

宮崎市からは、スポーツ推進委員14名とスポーツランド推進課から前担当の小八重さんが参加され、有意義な実りある2日間となりました。1日目は「第3期スポーツ基本計画とパラスポーツの可能性」～パラリンピアンだからこそ見出せたスポーツの魅力と可能性～と題して、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会の会長、大日方邦子氏の講演がありました。

2日目は、「わが国の『地域スポーツ』がめざそうとしているシーンとは」～つくる/はぐくむ・あつまり、ともにつながる・誰もがアクセスできる、の意味～をテーマに、大東文化大学スポーツ・健康科学部、工藤保子准教授を講師に基調提案がありました。その後、「基調提案を受けて、だからこそスポーツ推進委員に期待されることとは」をテーマに、大分大学教育学部谷口勇一教授をコーディネーターに、4名のシンポジストによるシンポジウムが行われました。

【シンポジスト】	大東文化大学スポーツ・健康科学部	准教授	工藤保子氏
	全国スポーツ推進委員連合	専務理事	柳沢和雄氏
	特定非営利活動法人 朝地フレンドクラブ	事務局長	森 誠一氏
	大分県障がい者スポーツ指導者協議会	会長	池部純政氏



九州地区スポーツ推進委員功労者表彰
合谷希代子さん・羽島康浩さん

令和4年度 宮崎県スポーツ推進委員協議会研究大会&研修会

☆第62回宮崎県スポーツ推進委員研究大会 令和4年11月26日(土)・27日(日) 延岡市

1日目217名、2日目166名で、宮崎市からは22名が参加しました。開会行事が終わり、宮崎市よりW石川の理恵さんと真理子さんの2名が功労賞を受賞されました。おめでとうございます。

アトラクションは高千穂の夜神楽(河内神楽保存会)でした。最後の方で天の岩戸だなど気づきました。基調講演は、宮崎スポーツ協会事務局次長、北林健治氏による、演題「これまでの指導と、ここからの指導～心構えと実践の挑戦～」で実施されました。話の最後に、「今日という日を心から楽しんで生き切ろう」「スポーツをすることが、どれだけ素晴らしいことか理解できる県になることが大切」と言われていました。初日の最後は、事業報告で日向の推進委員の方々から、ファミリー健康体力向上事業体力測定会についての説明でした。翌日は、スローエアロビクスの講習があり、3つの動作で簡単に運動ができることを教えていただきました。リーダーゲッターでは、いかに早く三段のバーにラダーを巻き付けることができるか、A・B・C班に別れ私もひざの痛みも忘れるくらい楽しく競技していました(広報部 坂元)



宮崎県スポーツ推進委員
功労者表彰
石川理恵さん・石川真理子さん

☆第1回研修会兼初任者研修会

令和4年8月28日(日)ひなた武道館

「スポーツ推進委員リーダー養成講習会」の受講者が講師となり、講義演習と実技が行われました。



宮崎市からは、杉元さん、福留さん、長友(ひ)さん、羽島さんが午後からのオーバルボールの実技指導と大会の運営を担当しました。お疲れ様でした。

☆第2回研修会 令和5年2月19日(日) 西都市

午前：講義「チャレンジと言葉かけ」
日本ペットトーク普及協会 遠坂有太郎氏
午後：実技講習「太極拳」
宮崎県武術太極拳連盟 会長 高木良典氏



協力事業・その他の事業

- 10月10日(月・祝) 市民一斉体力測定 ～宮崎市
- 12月 3日(土) 生目古墳群deピクニック ～宮崎市教育委員会
- 12月10日(土) トップアスリート発掘・育成事業 ～宮崎市
- 12月11日(日) 青島太平洋マラソン ～青島太平洋マラソン事務局
- 12月25日(日) エンジョイ・マラソンリレー大会 ～宮崎市スポーツ協会
- 1月 9日(月・祝) 市町村対抗駅伝競走大会 ～宮崎県

一編集後記一

年間の活動内容等わかりやすく皆さんに伝えようと、何度も部会を開き、部員一同広報誌作成に取り組んできました。まだまだ、伝えていかなければいけないことがたくさんあると思います。スポーツ推進委員の存在を知ってもらうこと、その仲間を増やすことも広報活動の一つだと思っています。2年間ありがとうございました。(広報部一同)